

## 2 学年（新 3 学年）国語 臨時休校（家庭研修）中に

### I 文章を読もう！

教科書・『初めての評論文 20 選』はもちろん、新聞や新書、小説など、身近な文章を片っ端から読んでいこう。新聞の社説やコラムを定期的に読むことは、世の中の今を知ることにもつながる。小説から悩み解決のヒントが見つかるかもしれない。文章には無限の出会いが潜んでいる。

### II 語彙を蓄えよう！

『現代文単語』（普通科）・『現代キーワードファイル』（商業科）・国語便覧などを使って、語彙を蓄えよう。語彙を蓄えることは知識を身につけることでもある。語彙（知識）の数だけ、考えが広がる、深まる。世界が見えてくる。モノやお金と違って、言葉は使えば使うほど豊かになる。

また、『重要漢字コレクション 2800』の漢字や語句を徹底マスターしておこう。何の勉強をするのにも「読める」ことは必要だ。

### III 受験勉強を始めよう！

まずは、これまでの模擬試験の答案の見直しから。解答解説書を徹底的に読み込んで、本格的に国語の受験対策を始めよう。赤本（大学別過去問題集）や、時間のかかる現代文や小論文の参考書を使って勉強できるチャンスでもある。

古典では、文法（夏の課題だった助動詞のワーク）や古文単語（『みるみる覚える古文単語 300』）、授業ノートを学びなおすこと。

勉強しかすることのない今こそ、力を蓄える好機ととらえ、徹底的に取り組むこと。勉強するための材料は、身近にたくさんある。いたずらに不安を抱くのではなく、冷静に、熱く、今だからできること、今すべきことに集中してみよう。

最後に、先日の朝日新聞夕刊の記事「イタリア・休校中の高校長、生徒へメッセージ」から引用。

最大の脅威は人間関係の「汚染」

……ミラノでは休校期間が延長となり、同校は 7 日までの休校が決まった。スキラーチェ校長は「こんな時にこそ良い本を読んでほしい」と勧め、「集団の妄想に惑わされず、冷静に、十分な予防をしたうえで普通の生活を送ってほしい」と呼びかけた。そして、「ペストが流行した時代と違い、今は近代医学がある。人間性や社会性といった私たちの貴重な財産を守るために、合理的な考えを持とう。……」と結んだ。

2020 年 3 月 2 日